

大府小学校 教育目標

(1) 本校の教育目標

「大府市教育振興基本計画」の基本理念とめざす子どもの姿を受け、校訓「正しく なかよく たくましく」の精神を根幹として、「知・徳・体」の調和のとれた児童を育成する。

校 訓 <めざす児童像>	
正しく	すすんで学び、正しい判断と行動ができる子
なかよく	思いやりがあり、仲間と協力して活動できる子
たくましく	心身ともに健康で、ねばり強く目標を達成しようとする子

(2) 経営方針

- ア 安心・安全・清潔な学校を基盤として、「めざす児童像」の実現に向けて教育活動それぞれの目的・内容・見透しを職員間で十分確認し合い、職員の「愛情・創意・和」をもって学校運営をすすめる。
- イ 児童の関心や意欲を高め、分かる・できる・楽しい授業を工夫し、児童一人一人が個性を生かして主体的に学び、活動する教育実践を展開する。
- ウ 学校・家庭・地域に関わる様々な情報を常に職員間で共有し合い、ホームページ、学校だより、学年・保健だより等の広報活動を一層充実させ、保護者や地域の方々から信頼される学校を求め続ける。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 「すすんで学び、正しい判断と行動ができる子」を求めて

- ・児童が自然や社会への関心を高め、すすんで調べたり、体験的に学んだりする活動を取り入れた学習を工夫・実践する。
- ・自分の考えや思いを発表する場面や、発表された意見をもとに話し合ったり、考えたりする場を学習活動に位置づける。
- ・学習指導要領の趣旨を踏まえ、現職教育を通して「道徳の時間」の指導の在り方について実践研究を行い、互いの力量を高め合う。

イ 「思いやりがあり、仲間と協力して活動できる子」を求めて

- ・児童会活動や学級活動を活発化させ、集団の中で学び合う喜びを味わわせるとともに、ルールやマナーを守り、互いに協力して生活することの大切さをつかませる。
- ・「はつらつとした挨拶と返事ができ、元気な歌声にあふれ、人の考えや思いをよく聞き合う子どもたち」の姿を求めて、学級・学年・学校づくりを推進する。
- ・特別な支援を必要とする児童一人一人について、職員が互いに理解を深めながら連携して指導にあたるとともに、個別の支援計画「すくすく」の活用や相談・支援体制の一層の充実を図る。また、さまざまな交流の場を活かして、すべての児童に「互いを認め合う気持ち」を育む。

ウ 「心身ともに健康で、ねばり強く目標を達成しようとする子」を求めて

- ・児童が関心や意欲をもって自身の健康づくりに取り組めるよう、食や保健に関する指導や活動の一層の充実を図る。
- ・児童が目標をもって学習や活動にねばり強く取り組み、目標を達成できた喜び(成就感)を味わうことができるよう、職員は「打てば響き合う子どもたち」の気概をもって積極的に児童へのはたらきかけを行う。
- ・児童の自己肯定感の形成、セルフ・コントロールできる力の育成、不安感や悩みの克服に向けて、常に児童と向き合い、その心をキャッチできるよう努める。

エ その他

- ・「大府市幼保児小中連携教育の指針」に従い、学年に応じた系統的な指導を行うとともに、「きらきらウィークチャレンジカード」による家庭への啓発を地道に行う。
- ・学校評価に関する取り組みや、学校評議員会、地域ネットワーク会議を活用して、学校内外の課題に速やかに対応する。